

正しい捨て方で事故防止!

正しい使い方で、スプレー缶は簡単、便利！

スプレー缶（エアゾール缶）を長い間放置すると、錆や、内容液の漏れに繋がりますので、使わないスプレー缶は廃棄してください。
使い切ったエアゾール缶とプラスチックは各市区町村の指示に従い、分別して、ごみにだしてください。
スプレー缶は、中身を完全に使いきってあれば、一般の金属容器と同様、安全に廃棄することができ、またリサイクルも可能です。

スプレー缶（エアゾール缶）の
捨て方を動画で解説！



ガス抜きキャップの使い方

スプレー缶には【ガス抜きキャップ】が装着されています。
中身のガスを出し切るために、ガス抜きキャップを使いましょう！

商品によっては、［ガス抜きキャップ（中身排出機構）］［ガス抜きキャップ（残ガス排出用）］［ガス抜きキャップ（ボタン）］等の表記を行うものがあります。
但し、一部のスプレー缶（エアゾール缶）商品には、ガス抜きキャップは付いていません。
【例】
内容量１００ｇ以下のエアゾール製品又は、炭酸ガス・窒素ガス等の不燃性ガス使用商品（商品表示をご確認ください）

中身を使い切る

人などにかからないように、
風通しが良い火気のない屋外で、
風下に向けて使用してください

新聞紙などに吹き付けるなどして、
周囲への飛散にご配慮ください

※ガス抜きキャップについてのお問い合せは、商品に記載の“お客さま相談室”や“販売元”にお尋ねください。
※ガス抜きキャップの形状、使用方法は、商品によって異なります。商品に記載された使用説明を必ずご覧ください。





ガス抜きキャップ使用の注意事項
- 中身を完全に使い切ってから火気のない風通しの良い戸外で行う。
- 中身が残っている製品で実施すると、可燃性ガスが大量に出て危険。
- 屋内で実施すると、残っているガスが部屋にたまることがある危険。

ガス抜きで気を付けることは？

缶に直接穴を開けてガスを抜くことは絶対にしないでください！

・エアゾール製品は内部が高圧状態にあるため、容器に穴を開けると中身が遠くまで噴射され、危険です。
・エアゾール製品に使われている可燃性のガス（LPG、DMEなど）は空気より重いため、換気扇を回していても吸い込まれずに下にたまってしまいます。

キッチンシンク中でのガス抜きキャップの使用は“絶対”に行わないでください！

・室内やキッチンでは思わぬ火種で引火事故を引き起こす可能性があるため、ガス抜きは風通しの良い屋外で行うようにしましょう。

右の写真はシンク内にガス（LPG）が滞留する様子をドライアイスで再現したイメージです。



使い切ったエアゾール缶とプラスチックは各市区町村の指示に従い、分別して、ごみにだしてください。
エアゾール缶は、中身を完全に使いきってあれば、一般の金属容器と同様、安全に廃棄することができ、またリサイクルも可能です。

※『ガス抜き済み』と表示すると安全です。
廃棄時に穴を開ける指示がある場合は、ガス抜きを完了した後に行ってください。

その他
よくあるご質問

協賛　エアゾール製品処理対策協議会　　発行　一般社団法人日本エアゾール協会

Designed by MITANI DESIGN MARKETING GROUP

カセットボンベ廃棄時の「ガス抜き」のやり方

【警告】

カセットボンベの缶に「穴を開ける」・「切り込みを入れる」ことによってガスを抜くことは絶対にしないでください。
ガスが一気に噴出して止められなくなり、引火による火傷や火災事故につながります。
ガスの抜き方は、以下のように行なってください。

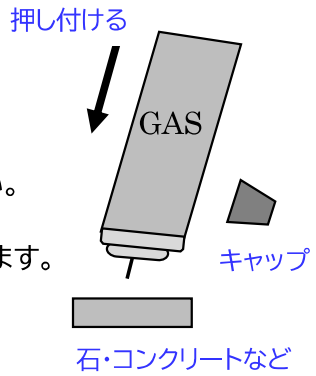
1、ガス抜きを行なう場所

●必ず、屋外の風通しのよい場所で行なってください。
屋内・室内で行うと、ガスが滞留して引火火災や爆発事故に至る可能性があります。
絶対に屋内・室内では作業しないでください。
（ベランダもガスが滞留しますので、絶対に作業しないでください。）

●周りに火の気がないことを確認してから行なってください。
火の気があると引火して事故につながる可能性がありますので注意してください。
（作動中のエンジン、電気製品など火花が出るものがないことも確認してください）

●付近に人通りのない状態、人のいない状態の場所で行なってください。

2、ガスの抜き方



①キャップを外して、カセットボンベを逆さまにして下さい。

②カセットボンベ先端の突出部（直径４㎜程の金属製のノズル）を、
地面の石やコンクリートなど硬い物にゆっくりと強く押し付けて下さい。

③押し付けている間はノズルからガスが出て、すぐ空気中に散っていきます。
押し付けるのをやめればガスは止まります。
この動作（…1～2秒押し付けて、数秒は押し付けるのをやめる）を
繰り返して行ない、ガスを少しずつ放出していってください。
1本全量入っている場合の所要時間は 10～15分程度です。

④ガスが出なくなり、ボンベを振ってみて「シャカ　シャカ」という液体音がしなくなれば、
ガス抜きは完了です。

※作業中の注意
- ●カセットボンベのガスは空気より重いので、完全に無風であれば下方向に流れます。
  （窪みや囲いとなるような所があると、そこにガスが溜まり拡散しませんので、避けてください。）
- ●排出されたガスを吸わないように注意してください。
  ガスは無害ですが、ガスの臭いを嗅ぐと気分が悪くなる可能性があります。
- ●気温が高い方が早くガス抜きできます。10℃以下のような低温環境は作業に不向きです。
- ●ガス抜きが進むにつれて缶が冷たくなっていきます。

3、廃棄について

ガスが空になったカセットボンベは、お住まいの自治体の分別収集のルールに従って、
一般家庭ゴミの収集に出してください。
（分別収集のルールは、お住いの自治体のゴミ収集の告知・広報などで確認してください）